

県内百貨店・主要小売店10月実績

●百貨店		売上高	客数
岐阜高島屋		10.1	▲6.9
●小売店		売上高	客数
	全店	既存店	
バロー	5.6	5.7	▲2.9
Vドラッグ	18.4	11.6	2.8
ホームセンターバロー	16.8	13.5	8.0
セリア	14.4	7.2	4.8
ヒマラヤ	15.4	13.1	7.1

※数字は前年同月比の増減率。▲はマイナス。Vドラッグは中部薬品、ひだ薬局、サンファーマシーの3社の合計。ホームセンターバローはダイユーエイト、ホームセンターバロー、タイムの3社の合計



県内の百貨店・主要小売店の10月上高実績(速報値)は、全ての小売店で全店、既存店の売上高とも前年を上回った。昨年10月は消費増税による駆け込み消費の反動で売上高が減少したため、各社とも増加の割合が高かった。バローは、生鮮の売れ行きが引き続き好調を維持。客数は減ったものの、まとめ買いなどで客単価の高い傾向が続いている。ドラッグストアのVドラッグは、昨年10月の落

10月の百貨店・主要小売店売上高 全ての店で上回る

ち込みが大きかった影響で、全店、既存店とも前年同月を大幅に上回った。ホームセンターバローは、園芸用品やリフォーム関連の商品の売り上げが伸びている。セリアは、新型コロナウイルスの影響で衛生用品や巣ごもり需要向けの商品が堅調に推移。ヒマラヤは、アウトドア、ゴルフ関連の商品の売れ行きが好調で、昨年10月に売り上げが落ち込んだ影響もあり、前年から大幅に伸びた。百貨店の岐阜高島屋は、営業時間の延長や北海道物産展によるイベント効果で大幅増となった。